



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階

電話 03-5315-0941

2024年9月20日

第766号

発行人 加藤誠 編集人 湯ノ目亜矢子

毎月1回20日発行/一部20円
(組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>



■ JR総連第41回臨時大会
■ 2024年9月12日 目黒さつきビル

2024年9月12日、JR総連は第41回臨時大会を開催しました。統制委員会から出された答申を審議し、全会一致の賛成によって、ジェイアール東海労働組合の「除名」が決定しました。

JR東海労のJR総連「除名」が全会一致で決定

JR総連に結集した仲間と共に組織の強化・拡大に向けた新たなスタートを切ろう

JR総連第41回臨時大会特集

JR総連山口執行委員長

主催者あいさつ

■ 本日の臨時大会は、JR総連第40回定期大会で設置されたJR東海労に対する統制委員会より、答申の準備ができたという報告をもとに開催した。

■ 制裁申請理由は「二重加盟の解消」「JR東海労からの新幹線関西西地本に対する組織指導」「新幹線関西西地本HPの削除に関する指導」について、執行委員会決定に基づき、JR東海労に対して文書で3度にわたる指導したが、事態が改善されなかった。このことが加盟組合の権利と義務に反するか審議をお願いした。

■ JR東海労選出のJR総連瀬上執行副委員長は第2〜5回のJR総連執行委員会を「制裁にかけられたので、その結果が出るまで欠席」としている。執行委員会には欠席し、臨時大会には出席するというのは、規約を軽んじる行為だ。

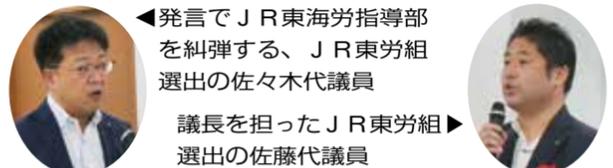
■ 「東海労裁判」第1回の口頭弁論が10月25日と決定した。9月3日には集会を開催し、津崎さんと共にたたかうことを確認した。課題が山積している中、「何が争点なのかわからない裁判」を提訴し、JR総連運動を妨害することはやめていただきたい。

■ 9月にJR西労に加入された難田さんは、寄り添って親身になって話を聞いてくれるJR西労の先輩方とともにたたかう決意で加入した。職場の組合員が日常の世話役活動で関わり、JR西労のたたかいを心に響かせた組織拡大だ。

■ 一方、JR東海労は、職場討議を行わずJS労を組織的に承認する臨時大会を開催し、組合員は置き去りにされた。組合員不在の運動に将来はない。

■ セモノの団結ではなく、仲間を想い、仲間とたたかい、ともに飛躍するJR総連運動をめざしていくために、すべての組合員の団結を訴える。

統制委員会答申 ジェイアール東海労働組合を「除名」とする。 「反対0」「棄権0」「賛成27」全会一致で決定！



◀ 発言でJR東海労指導部を糾弾する、JR東労組選出の佐々木代議員

議長を担ったJR東労組選出の佐藤代議員

質疑(要旨)

- 加盟組合としてやるべき行為ではない
- JR総連に対する敵対・破壊行為だ
- JR東海労指導部に対する糾弾が相次ぐ！
- JR総連と奮闘しようとする組合員は、JR東海労指導部の引き回しによって、置き去りにされた。ある意味では犠牲者だ。執行部の責任は重大だ。
- JR総連の方針に賛同し、加盟単組との連帯、相互協力による活動を望む組合員がいるはずだ。そうした組合員が仲間とともに団結していきけるよう、JR総連にはあらゆる方法を模索してほしい。
- * JR東海労の代議員は、議長から発言を促されたが発言せず。

JR総連小林書記長 総括答弁

■ 問題の核心が見えにくくなったが、一番の核心はJS労結成における二重加盟だ。その問題に向き合えずに、津崎議長から「嘘の報告」がされたら騒ぎ、HPに組織内の議論やJR総連に対する誹謗中傷を掲載する事態にまで至った。

■ そして本日、むしろ逆に事実に基づかないインターネットへの嘘とデマの拡散が明らかとなり、津崎議長の社会的評価を低下させ、公然と名誉を著しく毀損し続けている犯罪行為が明らかになった。もはや謝罪して済む話ではない。

■ JR総連は「一企業一労働組合」の実現をめざし、加盟単組はその方針のもと活動してきた。よって二重加盟は認めない。一企業内に労働組合が複数存在する場合、二重加盟で活動することは他の労働組合の利益のための活動となり、所属組織に不団結を持ち込み統制を乱す行為に他ならない。JS労のみがJR東海労働組合との二重加盟を容認するとい

JR総連に結集する全国の仲間と津崎さんとともに東海労裁判勝利を勝ち取る9・3集会

JR総連第40回定期大会が開催された2024年6月3日に、JR東海労新幹線関西西地本の組合員2名がJR総連近畿地協津崎議長を名誉棄損で提訴しました。大会では、JR総連に対する敵対行為であり、組織の総力を上げてたたかうことが確認されました。

2024年9月3日に「東海労裁判」勝利を勝ち取る集会が開催され、謝罪・撤回されている文書を意図的に宣伝活用する組織破壊攻撃を許さないことを参加者全体で確認しました



全国から230名が結集し、組織破壊とたたかうことを意思統一！
Web参加含め230名の団結力！ハロー

う歪な運営である。ましてや、JR連合との二重加盟さえも認めることは、JR連合と決別し、JR総連の旗の下に結集してきた仲間に対する侮辱だ。

■ JR総連に賛同する組合員と団結する方法を模索していただきたいとの要望を受け止め、議論と検討を進めていく。

■ JR東海労の組合員は、総合共済規則、ドライバーズ共済規則、犠牲者救済規則、業務上事故救済規則による適用の権利を失効し、鉄道ファミリーの各種保険の適用も打ち切られる。組合員の生活に直結する重大な問題をJR東海労指導部の引き回しによって発生させた。どのように組合員の権利を保障するのか。

■ 加盟単組を「除名」するといった結論に至ったことは、痛恨の極みである。しかし、JR総連はいかなる敵対があっても愚直に突き進んでいく。JR総連運動と組織を守り発展させるために、真の意味でJR総連の旗の下に結集するすべての仲間の総団結を必ずや勝ちとり、組織の強化・拡大の実現を必ずや成し遂げよう。